

特集

② 岩手の底デカラ 支援企業紹介

有限会社ベルモデル

伝統と革新の
職人技術で、日本の
ものづくりを支えます！

お知らせ

- ④ 22年度「いわて起業家大学」スタート
- ⑤ チャレンジ・ショップ^{出店者募集のお知らせ}
設備貸与制度のご案内
- ⑥ ETロボコン2010東北地区大会
- ⑦ 第1回ものづくり医療機器産業交流会（東北編）
下請法を学ぼう！第2回
- ⑧ 賛助会員告知コーナー



支援企業紹介

岩手県奥州市水沢区

有限会社
ベルモデル



30年ほど前から独自のNCデータ作成のプログラミングシステム開発を行い、金型加工の生産効率を格段にアップさせるなど、革新的な取り組みが同社の特長

Power of business human in Iwate

昔ながらの職人技術と、新しい技術への
チャレンジ精神が、ものづくりの進化を生む

鑄造用金型、木型製作という業務の枠を超え、デザイン試作から製品化までトータルでものづくりをとらえる奥州市の有限会社ベルモデル。技術や品質向上への惜しみない努力により、県内外の企業から信頼される同社の取り組みを紹介します。

鑄造用の木型と金型を製作 大手メーカーとの取引も獲得

奥州市に工場を構え、鑄造用の金型、木型製作および、鑄造品製造を行う有限会社ベルモデル。品質の高さや先進の技術を追求め、時代やクライアントのニーズに合った製品づくりで、大手メーカー等からの発注も多い。半導体・液晶パネル・太陽光パネル等の製造ラインの設備機器部品の製作や、高級オーディオ機器の開発に参画するなど活躍の場は広い。

型製作のおよそ7割は、アルミや鉄を機械加工した金型が占めている。CADやCAMなどパソコンで作成されたデータを高速マシニングセンターに送り、「主型」や「中子型」と呼ばれる鑄造用の型を製作。一見するとパソコンを使った、いたって現代的な作業にも見えるが、工場や現場を熟知していないとソフトを扱うことはできないという。「どの刃物でどう削っていくか、職人レベルの知識や経験がデータ作成にも必要になるんです」と、

菊池工場長は語る。

昭和16年の創業当初から行っている木型の製作は、木工機械と手作業によって行われるため、熟練職人の腕と勘が冴える。木型は安価で早い納期にも対応できることなどから、試作品用などの小ロット製品に欠かせない業務となっている。

こんな会社になりたいという夢を描き、新しい技術にも果敢に挑戦！

同社では、およそ30年前から鈴木社長を中心に、工作機械におけるコンピュータを使ったNC（numerical control「数値制御」）データ作成のプログラミングシステムの開発に取り組んできた。一般にパソコンが普及するよりも前のことで、価格の高さなどから一般企業でも導入するところは少ない時代だった。このシステムの導入で業務の効率化と精度の向上にいち早く取り組んだことにより、受注増の結果をもたらした。技術力の追求と革新への信念は、現在にいたるまで同社の根

今月の表紙

奥州市水沢区、有限会社ベルモデルの社員のみなさん。木型と金型製作のスペシャリストたちは、長年培った経験や、技術力向上への探究心、そして新しいアイデアで日本のものづくりを支えている。

幹を支えている。

創業時は木型製作を主に手がけ、いわゆる「型屋」として事業を行っていた同社。「型はひとつ作ったら終わり。だから、自社でも量産品の製造を手がけていきたい」という長年の思いを実現し、現在は半導体関連の設備機器部品などの製造も取り扱っている。音響系の大手メーカーから南部鉄の铸造台座の開発を依頼され、4年あまりの製作期間をかけた高級オーディオ機器が発売されたのは平成21年のこと。「細かく複雑な形状のデザインオーダーを目にして、不可能だと思った」と蒔田金型課長は言う。そこから試行錯誤を重ね、地元の铸造所と協力しながら開発にこぎつけた経緯を振り返り、「こんな企業になりたい、という思いや夢に向かって進んで来たから、今のかたちになっているんです」と鈴木社長は笑顔で語る。

ものづくりの技術革新を後押しした、産業振興センターの支援

30年ほど前から岩手県工業試験場（現在の岩手県工業技術センター）に通い、ソフト開発に関する相談などを行ってきた経緯から、いわて産業振興センターとのつながりも深めてきた同社。平成21年度に県が公募した「地域ものづくり企業技術高度化支援事業



有限会社ベルモデル

【代表取締役】鈴木照美

【所在地】奥州市水沢区羽田町
字谷木37-1

【電話】0197-28-1101（代）

【FAX】0197-26-4529

代表取締役 鈴木 照美

1952年岩手県衣川村（現奥州市衣川区）生まれ。水沢工業高校卒業後、東京都内の企業でデザイン・インテリア業務を経験。80年に帰郷し、有限会社鈴木木型（現・有限会社ベルモデル）にてNCデータ作成のプログラミングシステム開発などを推進。94年代表取締役就任。

費補助金」に申請を行う際には「相談事業」を活用し、センターの担当者と打合せを重ね、「本当に親身になってくれた」と鈴木社長は振り返る。

高度化支援事業により同社では、最新鋭の機器を導入した。それは端から見れば、「型屋」として創業した同社のイメージを覆しかねない、「型を無くして製品を作る」という機器である。しかし、枠にとらわれず、常に革新を追い求める同社にとっては、効率化を図るとともに、事業の幅が広がるきっかけとなっている。

昔ながらの職人による技術と、新しいアイデアや機器の導入による技術を融合させ、ものづくりの新しい一步を踏み出そうとしている有限会社ベルモデルの、次なる挑戦にも期待したい。

< P.3写真 >

1	4	5
2	3	6

1. 創業当初から続く铸造用木型の製作現場。試作や小ロット用に使われ、安価で短納期なのが木型の利点
2. 職人の技術を要する、木型の手作業工程
3. 金型加工の機械。切削油をかけながら、金属を削っていく
4. CADやCAMを使った設計作業。金型工作機械のデータを制御するには、現場の知識も不可欠
5. 製造ディレクションを手掛けた高級アンプは、ハイエンド音響機器の専門誌でも特集が組まれた
6. アルミ铸造用グラビティー金型の工作機械加工



「いわて起業家大学」 スタート

～オープニング講座に77名～

起業を目指す人、企業内で新事業や新分野に取り組む方を対象に「事業成功の条件」や「事業計画書の作成」「プレゼン技術」等の指導をおこなう「いわて起業家大学」がスタートし、8月7日に盛岡市・マリオスでオープニング公開講座を開催しました。

盛岡を中心に、県南、沿岸地区からも参加者があり、年代も20代から60代までと幅広い層が参加しました。オープニング講座には77人が参加者し「起業家精神の必要性」について、担当講師から様々な事例を交えた講演が行われました。この後、11月までの「事業成功の条件」や「事業計画作成」の講座を経て、1月8日のビジネスプラン発表会まで7講座が開催されます。

なお、詳細は未定ですが、来年2月には「ITスキルアップ・食産業の起業（仮題）」をメインテーマに、二戸市での開催を予定しています。



「工程カイゼン中級セミナー」募集中

生産現場において、他社との競争力を高めるためには、現場改善を積極的に推進することが重要なポイントになります。

本講座では、現状を分析し、いろいろなムダを排除し、新たな改善案を立案するための手法について、IE技法を中心に学び、自社の課題解決に役立てていただきます。

IE技法を活用した
現場改善について
指導します



講師

(株) アドバンス経営
中田 耕 治

日時

1月18日 9:30～
19日17:30 (1泊2日)

会場

八幡平市・安比グラウンドアネックス

定員

20名

受講料

3万円

宿泊代

1万円

対象

中堅管理者、実務担当者、若年生産担当者、
工程カイゼン基礎講座修了者

ポイント

- 現場改善の基本と考え方 ●モデル作業 (VTR) IE改善実習
- 自社の現場改善への対応

内 容

- 1 改善技術の基礎知識
工場改善の考え方、改善に取り組むステップ、トップダウン改善、ボトムアップ改善、改善の継続・定着
- 2 IE技法の演習による作業改善方法の理解
工程分析、要素作業分析、稼働分析、ラインバランス分析、連合作業分析、VTR作業分析、その他の分析手法
- 3 現場改善の具体的進め方
改善テーマと目標設定、改善組織、改善計画、リーダーシップ

申込・お問い合わせ

(財) いわて産業振興センター
人材・技術開発支援グループ
TEL / 019-631-3825

<http://www.joho-iwate.or.jp/kenshu/>

貴社の**新商品**を盛岡地区で**試験販売**し、手応えを確かめてみませんか？

チャレンジ・ショップ 出店者募集のお知らせ

【主催】(財)いわて産業振興センター

- 期間：平成**22**年**6**月～平成**23**年**2**月末
- 場所：**イオン盛岡南ショッピングセンター**
「いわて活菜横丁・結いの市」内
チャレンジ・スペース
- 事業対象者
 - ・中小企業支援法第2条に規定する中小企業者
 - ・岩手県内において創業しようとする個人及びグループ
 - ・農林水産物及びその加工品の生産者等
 - ・その他、(財)いわて産業振興センターが適当と認める者
- 使用可能面積及び1事業者当りの出店限度日数
 - ・5m×3.2m、最長7日間までで調整します。
- 詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.joho-iwate.or.jp/challengeshop/>

お問い合わせ先

- 空き日程の確認：
社団法人遠野ふるさと公社 (チャレンジ・スペース管理者)
電話：019-631-3137 (担当：佐藤)
- チャレンジ・ショップ申込：
(財)いわて産業振興センター 特命担当グループ
電話：019-631-3820 (担当：石村)



消費者ニーズや
商品評価の把握に
ご活用ください！



設備貸与制度のご案内

明日のために
いま
始めよう！

中小企業の方が導入する機械設備を、当センターが購入し、長期・低利で割賦販売する制度です。

割賦

- 貸付額 100～10,000万円
- 貸付期間 最長10年返済
- 利率 年利2.3% (固定)
- 担保 無担保・保証協会の保証不要

リース

- 設備額 100～6,000万円
- リース期間 5年又は7年
- リース料(月額) 5年リース 設備額の1.860%
7年リース 設備額の1.382%

- ➡ 機械設備、運搬用車両、建設機械などの購入を検討されている方！
- ➡ 電話をいただければ、返済額を試算した資料をお送りいたします！
- ➡ 借入利息、割賦販売額、リース料の比較検討をお願いします！

お問い合わせ先
(財)いわて産業振興センター 総務・金融グループ
TEL.019-631-3821

ETロボコン2010

東北地区大会



組込みソフトウェアのロボットコンテスト

ETロボコンは、若年層及び初級エンジニアが、組込みソフトウェア開発の分析・設計手法を学ぶとともに、モノづくりの楽しさを体験できる教育機会を提供することを目的に毎年開催されている全国規模のロボットコンテストです。各チームは決められた車体（ロボット）に、参加者が独自にソフトウェアを設計・実装してレースを実施します。成績は走行タイムとソフトウェア設計技術（モデリング）の総合評価で決まります。

東北6県から34チームが岩手に集結

2008年から岩手で北海道・東北地区大会が開催されており、ものづくりの現場で活躍中の企業様のチームや、次代の産業を担う高校や大学などのチームが技術力の高さを競い合っています。今年は北海道地区の独立にともない、東北地区大会として開催しますが、東北6県からの34チームが岩手に集結し、熱戦を繰り広げます。

レースの見どころ

各ロボットは、数々の難所が設置されたコース上の黒いラインをなぞって走ります。走る姿は一見コミカルに見えますが、スピードと正確性が求められる、ハイレベルな競走が展開されています。



御家族の皆様とともに、ぜひ見学にいらしてください！

入場無料！！
見学事前登録不要！

日時：9月23日（祝） 10:30～開会式
10:45～レース開始
会場：岩手県民情報交流センター（アイーナ）7Fアイーナホール

お問い合わせ先

ETロボコン2010東北地区実行委員会事務局
(岩手県科学・ものづくり振興課内)
E-mail: erthk-jim@m01.pref.iwate.jp
TEL: 019-629-5553
FAX: 019-629-5549

無料・秘密厳守

知財に関する
どんな悩みでも解決します!!

課題解決型相談・ コンサルティング事業

(主催：特許庁 実施：社団法人発明協会)

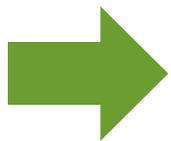
権利を
活用したいなあ

新製品の
共同開発を
したいんだけど？

発明を考えたんだ
けど、どこに相談
したらいいの？

出願手続きは
どうすればいいの？

産業財産権に関する
助成制度が知りたい



ワンストップ機能を強化した相談窓口を、全国47都道府県に開設!!

知財活用を支援する専門のコーディネーターが解決策をアドバイスします。

(岩手県は佐藤清子・岩手県知財活用支援コーディネーターが皆さまのお手伝いをします)

専門家派遣

適切な知財専門家があなたの会社へお伺いして相談に応じます

相談会開催

知財専門家が、権利取得等に関する相談について指導・助言します

支援策紹介・仲介

公的機関等が実施している支援策の紹介、手続方法を説明します

電子出願支援

インターネット出願可能な端末を設置。操作方法も指導します

事業の詳細については、「特許ひらめ木」をご覧ください。 <http://www.hirameki.jiii.or.jp>

知財活用支援
コーディネーターへの
お問い合わせは…

(社)発明協会 岩手県支部

〒020-0862 盛岡市飯岡新田3-35-2 岩手県工業技術センター 2階

TEL・FAX / 019-636-0256

Eメール / iwate.s-ad@ac.wakwak.com URL / <http://www15.ocn.ne.jp/~hatumei/>

第1回

ものづくり医療機器 産業交流会（東北編）

に出展



7/27（火）～7/30（金）の4日間、日本医科器械会館（東京都文京区本郷）において「ものづくり医療機器産業交流会」（東北編）が開催され、TOHOKUものづくりコリドー（医療付福祉機器分野）と東北6県の医療・福祉機器関連研究会の連携活動の一環として当該研究会会員企業70社（前半35社、後半35社）が出展しました。

いわて医療機器事業化研究会会員企業の出展状況は、次のとおり前半6社、後半5社、計11社が出展しました。

※平成22年7月27日（火）～30日（金）（前後半に分け、出展社を入れ替え）

前半（電気・電子、ソフトウェア関連企業）

7月27日（火）12:00～19:00
28日（水）10:00～17:00

RFtestLab（有）、（株）アイカムス・ラボ、（株）新興製作所、東北日本電気（株）、（株）デジアイズ、谷村電気精機（株）

後半（機械加工、材料、表面処理関連企業）

7月29日（木）12:00～19:00
30日（金）10:00～17:00

（株）小林精機、三光化成（株）、品川光学（株）、（株）東亜電化、（株）岩手東京ワイヤー製作所

この交流会は、（社）日本医療機器工業会の協力と支援を得て、日本の医療機器メーカーが集積する東京本郷地区において、医療機器メーカー様をお招きし、自社技術を「よく知っていただく」とともに、医療機器メーカー様の求める事項を「よくお伺い」し、今後の日本の医療機器の改善・改良に資するビジネスの獲得を目指したもので、来場者数は4日間で延べ約300名程度でした。

それぞれ目的を持って出展・来場していただき、活発な情報交換が行われており、有意義な交流会でした。

下請法を学ぼう！

第2回



下請代金支払遅延等防止法（下請法）は、下請取引の公正化、下請事業者の利益の保護等を図ることを目的とした法律です。本欄では、下請法について数回に分けて解説します。「下請法を学ぼう！」第2回は「親事業者の義務」についてです。下請法では親事業者に対し、次の4つの遵守義務を課しています。

ア.発注時には、書面を交付する必要があります（下請法第3条）。

口頭発注によるトラブルを未然に防止するため、親事業者は、発注に当たって、以下の内容をすべて記載した書面を下請事業者に交付する必要があります。

発注書面に記載する必要がある事項

- ①親事業者・下請事業者の名称、②発注年月日、③発注内容、④納入場所（提供場所）、⑤納期（提供日又は期間）、⑥検査完了期日（検査期間）、⑦下請代金の額（単価、算定方法）、⑧支払期日（支払制度）、⑨支払方法、⑩原材料等を有償支給する場合は、品名、数量、対価、引渡しの期日、決済期日、決済方法

イ.発注時に、支払期日を定める必要があります（下請法第2条の2）。

不当な支払期日の変更、支払遅延により、下請事業者が不利益を受けることを防止するため、親事業者は、下請事業者と合意の上で、下請代金の支払期日を事前に定めることが義務付けられています。支払期日は、発注した物品等の受領後（受領とは、下請事業者が納入したものを検査するかどうかを問わず、受け取ることをいいます。）60日以内でできる限り短い期間になるように、定めなければいけません。

下請法では、支払期日を以下のように定めています。

- ①当事者間の取決めにより、下請事業者の物品等を受領した日から起算して60日以内に支払期日を定めた場合はその日が支払期日

- ②当事者間で支払期日を定めなかった場合は、物品等を受領した日が支払期日
- ③当事者間の取決めにより物品等を受領した日から起算して60日を超えて支払期日を定めた場合は、受領した日から起算して60日を経過した日の前日（60日目の日）が支払期日

ウ.支払が遅れたら、遅延利息を支払う必要があります（下請法第4条の2）。

親事業者は、下請事業者に対して支払期日までに下請代金を支払う必要があります。支払期日までに下請代金を支払わなかった場合、発注した物品等を受領した日から起算して60日を経過した日（61日目の日）から実際に支払った日までの期間に係る遅延利息（未払金額に年率14.6%を乗じた金額）を支払う義務があります。

エ.取引記録の書類を作成・保存する必要があります（下請法第5条）。

親事業者は、発注時に定めた給付内容・下請代金の額・納期・支払期日や、実際を受領期日・検査の結果、支払った下請代金の額・支払期日・支払方法、手形の満期など、下請取引に関する事項を記載した書類を作成し、2年間保存しなければいけません。また、発注書面の写し・納品書・検査証明書・下請事業者からの請求書・支払明細書・銀行の支払通知書などの、発注から支払までの書類を保存することで書類を新しく作成することに代えることができます。

この4つの遵守義務のうち、アの発注書面の交付義務とエの書類の作成・保存義務については、違反した場合の罰則が定められています（下請法第10条）。公正取引委員会では、下請法で禁止されている行為の未然防止の観点から、特に親事業者に対して発注書面の交付を徹底するよう指導しています。

今回は、「下請法で禁止されている行為」について解説します。

お問い合わせは

公正取引委員会事務総局東北事務所 下請課
仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第2合同庁舎
TEL 022-225-8420（直） FAX 022-261-3548

岩手県釜石市

株式会社三陸技研

産業・環境・生活を支える優等生です

当社は「FRP」(強化プラスチック)製品の加工を手がけております。FRPは硝子繊維で強化されたプラスチックで、耐蝕性・耐薬品性・耐熱性に優れており、タンク、ダクト、貯水槽、蓋など、さまざまな応用が可能です。当社はこれらFRP製品の製造を行っています。



丸タンクにおいては、小型はもちろん、150mの大型タンクも製造可能です。金属に代わる次世代の素材・FRPのことなら当社にお任せください。

会社情報

代表者名	坂元琢夫	従業員数	36名
事業内容	耐蝕 FRP各種タンク・脱臭装置、FRPライニング工事施工	住所	〒026-0001 釜石市平田町3地割74
		T E L	0193-26-7331
設立	平成2年7月	F A X	0193-26-6756
資本金	1800万円	U R L	http://www4.ocn.ne.jp/~sanriku1/

岩手県洋野町

株式会社岩本電機

ものづくりスピリットを洋野町から発信!

当社は、洋野町にて、情報通信、産業機器、車載など、エレクトロニクス企業にワイヤーハーネスを提供、「ワイヤーハーネスの岩本電機」として、本県のものづくり産業の一端を担っております。



主に、JST部品加工、モレックス製部品加工などを手がけており、半田処理ロボットを導入、迅速な生産体制を敷き、また、徹底した品質管理も行っております。



会社情報

代表者名	岩本明佳	従業員数	35名
事業内容	ワイヤーハーネス加工製造	住所	〒028-7901 洋野町種市第13地割41番25
		T E L	0194-65-3930
設立	昭和63年9月	F A X	0194-65-3899
資本金	3000万円	U R L	http://www.iwamotodeni.co.jp/

岩手県一関市

株式会社大武・ルート工業

幅広いジャンルで、
独創的なモノづくりに取り組んでいます

当社の主力製品である「自動ネジ供給機」は国内、国外問わず多くの工場でご愛用いただいています。もうひとつの主力である「トレッドミル」は開発・製造をはじめて35年になり、医療・福祉・スポーツ分野はもちろん、さまざまな研究機関等より、ご用命をいただいています。

このほか、社会貢献度の高い福祉支援機器の開発にも取り組んでいます。



*受賞歴
1999年 第11回中小企業優秀新技術・新製品賞受賞
2006年 文部科学大臣表彰 科学技術賞受賞
2008年 中小企業庁「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」認定

会社情報

代表者名	太田義武	従業員数	27名
事業内容	小型産業機器、医療・健康・スポーツ機器の開発・製造	住所	〒021-0902 一関市秋荘字金ヶ崎27
		T E L	0191-24-3144
設立	昭和43年10月	F A X	0191-24-3145
資本金	4000万円	U R L	http://www.ohtake-root.co.jp/

岩手県盛岡市

株式会社カナン製作所

段取りレスで他品種小ロット生産を短納期で実現!
精密板金加工のパイオニア

当社は精密板金加工、タレットパンチ加工、溶接加工を主に手がけております。複雑な形状にも高い精度でお応えします。

MetaCAM (CAD/CAM) を使用しており、複雑な形状も加工可能なおうえ、低コスト化も実現。お客様と迅速な打合せも可能となりました。



「ガトリングプレス」を採用、24時間連続稼働を可能にし、高歩留りで高効率の加工を可能としています。

各種産業装置・半導体製造装置・医療機器等のカバー、扉、操作パネル、各種部品等、高品質・短納期の部品を各メーカーへ供給しております。



会社情報

代表者名	阿部和大	従業員数	30名
事業内容	精密板金加工 プレス 組立	住所	〒020-0841 盛岡市羽場10-1-10
		T E L	019-637-8760
設立	昭和41年	F A X	019-637-8763
資本金	3000万円	U R L	http://www.kanan-ss.co.jp/